



企業訪問 (41)

北菱

日本ではまず自動車が多かった1950年、石川県小松市にあった米軍駐屯地のトラックやディーゼルの故障に対応する自動車修理業として創業した北菱。身近ではない「特別なものを直す」ことから始まった技術力は、高度成長期には建設機械などの特殊車両の分野へと発展。さらに84年には顧客の要望に応じて「下水道メンテナンスロボットを開発・商品化し、全国販売を開始した。下水道の維持管理に欠かせない専用ロボットのパイオニアである同社を訪ね、創業者の孫でもある白濱樹代表取締役、野田マインアップやその特徴、今後の展開について聞いた。



谷口代表

な構造。前後の人孔からワイヤーを使って移動させ、別途投入した調査カメラの映像を確認しながら位置決めや前処理、穿孔作業を行う。軽量、低価格で、高いコストパフォーマンスを実現しており、いしかわエコテサイニング2019大賞のほ

な構造。前後の人孔からワイヤーを使って移動させ、別途投入した調査カメラの映像を確認しながら位置決めや前処理、穿孔作業を行う。軽量、低価格で、高いコストパフォーマンスを実現しており、いしかわエコテサイニング2019大賞のほ

下水道維持管理ロボットのパイオニア

前処理から穿孔まで、管更生の省力化・工期短縮に貢献

「下水道管の中の掃除や修理ができるロボットが欲しい」。建機部品の製造販売を柱とする北菱が「下水道」分野に踏み出したきっかけは、公共事業の高度化により下水道の維持管理を請け負うことになった顧客からの要望だった。調査用のカメラロボットだけでなく、異物の除去や穿孔などの機能を備えた作業ロボットを豊富にラインアップしているのは「維持管理業務の省力化」という顧客ニーズへの対応が始まりだったからだ。本管用の穿孔ロボット

のラインアップは集約的に4種類。突き出し管にはライニング材モルタル、温泉水、石灰、伸びた木の根やバネ等、各種の異物除去を前処理と、補修材注入の穿孔作業が行える。DIR IVE Plusは、中口専用の自走式カメラ付き削孔機だ。角度セン

のラインアップは集約的に4種類。突き出し管にはライニング材モルタル、温泉水、石灰、伸びた木の根やバネ等、各種の異物除去を前処理と、補修材注入の穿孔作業が行える。DIR IVE Plusは、中口専用の自走式カメラ付き削孔機だ。角度セン

のラインアップは集約的に4種類。突き出し管にはライニング材モルタル、温泉水、石灰、伸びた木の根やバネ等、各種の異物除去を前処理と、補修材注入の穿孔作業が行える。DIR IVE Plusは、中口専用の自走式カメラ付き削孔機だ。角度セン

のラインアップは集約的に4種類。突き出し管にはライニング材モルタル、温泉水、石灰、伸びた木の根やバネ等、各種の異物除去を前処理と、補修材注入の穿孔作業が行える。DIR IVE Plusは、中口専用の自走式カメラ付き削孔機だ。角度セン



環境新聞 オンライン

新規登録会員を 募集中!!

登録月の月末までは 無料です。

環境新聞オンライン

- ①お手持ちの電子端末に対応 環境新聞の記事をお手持ちのデバイスでいただけます。
- ②プレミアム会員：新聞の購読者の年間購読者は年間購読者